

知事コメント  
(CH-53Eの飛行再開容認について)

本日、普天間第二小学校におけるCH-53Eの窓の落下について、防衛省から「これまでに米側から寄せられた説明は、防衛省の事故調査を行う場合の知見に照らせば、米軍がCH-53Eの飛行を再開するための措置がとられたと判断できる」との発表がありました。

今回の事故は、一歩間違えば多くの児童の命に関わる重大な事故につながりかねず、これまで繰り返し事故を発生させている米軍の対応に多くの県民が大きな不安を抱えている中で、従来と同様の対応で済ませようとする米軍及びそれを容認する日本政府の姿勢は断じて容認できません。

平成29年12月18日  
沖縄県知事 翁長雄志